

2023年度産加工用トマト作柄概況一覧（7月31日現在）※J A及びメーカーからの報告による

一般社団法人全国トマト工業会

県名	作付面積 (ha)	予想生産量		7/31までの出荷数量 (t)	生育概況	被害概況			
		反収 (kg)	全収量 (t)			被害名	被害面積	被害程度	
生産振興協議会10県	岩手	40.8	5,154.3	2,105.0	-	6月中旬以降の高温推移と適度な降雨もあり定植後の低温による遅れは回復するも、地域によって生育のバラつきが見られる。6/16豪雨被害の圃場は7/14~18の大雨で湿害被害が拡大。被害面積2.5ha（県南地域）。大雨・早い梅雨明け・高温・乾燥等により、尻腐れ果の発生が平年より多く、疫病の初期症状も確認されている。県北地域は草勢バランスが整っており、平年より生育良好。今後は、高温・乾燥により病虫害発生が懸念される。			
	山形	8.1	6,000.0	486.0	-	定植は5/10頃~5/24まで。定植時期から7月中旬まで適度な降雨があり例年よりも尻腐れ果は少ない。梅雨明け後の7月下旬から高温気象が続き日焼け果が見受けられる。8/1より出荷開始。	斑点細菌病・白絹病・青枯れ病・日焼け果	軽微	
	福島	6.2	4,236.0	264.0	4.5	概ね順調。	高温障害（葉の枯れ・日焼け果）、疫病	50a	8%
	茨城	166.7	7,396.4	12,332.7	7,075.5	各産地とも出荷前進傾向。昨年同時期と比較して、130%の出荷量。直近に発生した短時間大雨、雹の被害はない。			
	栃木	14.2	6,500.0	920.0	920	着果数は、90-100個/株。小規模の日焼け果発生が散見される。6月末からの高温で着色が進み、かなり赤果が多い状態で例年通りの初回出荷(7/11)となった。一方で、機械収穫品種では着色進行が7月下旬から鈍化し収穫が後ろ倒しとなっている。病害虫は、6月に発生したえき病による被害は拡大することなく抑えられた。県北では、マメハンミョウによる葉の食害が発生しているが、収量への大きな影響はなし。	疫病・日焼け果	33a	2%
	群馬	8.0	5,245.3	417.0	37.30	7月下旬より出荷開始。収穫までの生育推移としては順調。一部の圃場でハダニや、病害による葉落ちで日焼け果発生するも、全体的に生育は順調。8月上旬から中旬にかけてピークを迎える見込み。	斑点細菌病	50a	
	山梨	0.9	6,000.0	56.0	0.3	7/28から出荷スタート。高温と乾燥により、尻腐れが発生している。また、梅雨時期の湿気により疫病が発生した。タバコガの被害は軽微。	尻腐れ	60a	66%
	長野	104.6	6,184.2	6,468.6	148.4	生育は比較的順調。ただし、7月は例年より高温少雨の影響からやや乾燥気味。樹勢が弱い圃場ではごく一部で日焼け果が見られる。尻腐れ症については、比較的少ない傾向にある。出荷は例年より5日程遅く、8月頭から本格化する見込み。	日焼け果 尻腐れ	若干	
	新潟	5.0	4,265.9	215.0	-	全体的に生育は順調。ごく一部で病気（湿害等）の発生や果実のヤケ等が確認されるが、全体収量に影響はない見込み。水田転作圃場で青枯れ病発生。	青枯れ病		10%
愛知	4.2	3,557.4	148.7	132.6	一部地域で疫病。暑さによる樹の弱りが目立っている。出荷終盤にさしかかっている。	疫病・黄化葉巻 日焼け果・軟果			
その他主要産地	北海道	70.6	6,157.9	4,347.5	-	定植直後の干ばつの影響が出ている。着果以降、高温・干ばつの影響で、尻腐れ果を懸念。	干ばつ		軽微~10%
	青森	16.6	4,891.6	812.0	-	6月上旬以降は平年より気温が高く推移し、低温による生育停滞の遅れは回復。6月中旬~7月上旬にかけ降水量が少なく（干ばつ）+高温で尻腐れ果の発生が平年より多い。前年より生育が順調な地域もある。			
	宮城	9.0	5,000.0	450.0	5.0	6月上中旬以降は平年より気温が高く推移。7月に入ってから的高温にて、熟期が早まる可能性あり。降雨量は昨年より少ないが、降雨日数は昨年より10%増。疫病や斑点細菌などの病気が広がっている。	疫病	140a	
	岐阜	1.4	257.1	3.6	3.6	1法人において多雨による湿害・欠株・日焼け果多発。9月上旬より収穫予定の圃場がある（一部生育不良）。	湿害・日焼け果		20%強
	滋賀	8.0	3,300.0	264.0	87.0	7/20から収穫開始。6月断続的な降雨による着果不良や除草作業遅れによる草勢低下となっている。			
	広島	18.0	2,000.0	360.0	47.0	7/17から収穫開始。6月断続的な降雨による着果不良や除草作業遅れによる草勢低下となっている。			
長崎	8.0	5,000.0	400.0	215.0	曇雨天が続く着果不良傾向（平年より6日早く6日遅い梅雨入り梅雨明け）。防除も十分に入れず、オオタバコガ食害やウイルス等が拡大し減収。				
上記以外の産地計	3.9	3,244.4	126.5	31.0	日焼け果目立つ。				
合計	494.3	6,105.4	30,176.7	8,707.3					